



自分の想像を超える自分でありたい。  
その思いが研究の道へとつながった。

工学系（土木工学・交通工学）

**安藤宏恵**

熊本大学くまもと水循環・減災  
研究教育センター助教

**Profile** あんどう・ひろえ 2011年に愛知県の高校を卒業後、岐阜大学工学部に入学。2015年に同大学卒業後、同大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻修士課程に進学。その後、同大学大学院博士課程に進学し、2020年に博士（工学）の学位を取得。学位取得後は東京工業大学で研究員を経て、2021年に熊本大学に着任。



世界的にもニーズが拡大している交通工学分野。

工学部

▼ 大学院（修士課程）

▼ 大学院（博士課程）

▼ 大学研究員

▼ 大学教員

**就活も視野に入れながら  
大学院へと進学**

私は土木工学のなかの交通工学分野の研究をしています。専門は交通ネットワーク分析で、とくに災害時に機能不全に陥らない道路ネットワークのあり方やそのための最適な整備計画について、主に数理モデルに基づいた研究を行っています。

学部時代は「勉学に励む」というよりも、バイトやサークル活動に時間をさいてしっかりと楽しむ学生でした。大学院入試の推薦資格があったことを理由に修士課程への進学を決めましたが、その時点でも将来については模索中でした。

研究者になることを意識しはじめたのは修士課程1年目からです。配属された研究室の雰囲気の良いさと指導教員の人が魅せられて、研究がどんどん楽しくなってきたからです。学会での成果発表などでさまざまな場所に行ったりと、初めての経験に満ち、また刺激的な毎日を送っていました。とはいえ、修士課程を修了したのちは企業で働くことも視野に入れて就職活動もしていました。最終的には企業への就職ではなく研究の道を選びましたが、それは「もっと研究をしたい」という強い思いが背中を押したからです。

研究室には留学生も多かったため海外への興味が膨らみ、修士課程ではブリスベン、博士課程ではシドニーへ留学して海外経験を積みました。シドニー大学では

私の研究テーマであった交通ネットワーク形状論を専門とする先生のもとで学びを得て、自分の幅を広げることができたと思います。自由に研究だけができる幸せな日々でした。

**自分でコントロールして進めて  
いけるのが研究の魅力**

この仕事の魅力ややり甲斐は、自分の興味があるテーマ・やりたい研究が自由にできることだと思います。また仕事を進めるうえで、自分のペースでできることも大きなメリット。私は性格的に「一気に集中して追い込みたい時期」と「少し休息したい時期」がありますが、この仕事はその辺りのバランスをうまくとることができるのでありがたいなと思っています。今は仕事に集中したい気持ちの方が強いので、ワークライフバランスについて悩んだり考えたりすることはほとんどありません。ただ、適度に息を抜かないと、気づいた時には「体力気力が消耗していた」ということにもなりかねないので、現在は自分で自分を制御するようにしています。そういった面でもワークライフバランスについては今後の課題でもあります。研究には体力も必要と感じ、最近は筋トレに励んでいます（笑）。朝、近所のスポーツジムで腹筋・背筋を20～30分ほど鍛えたあと大学に出勤しています。

休日は、体を休めることが多いですね。睡眠をしっかりとって気力

体力をリカバリーさせています。あとはプロ野球のテレビ観戦も息抜きになっています。愛知県出身なので子どもの頃から家族で『中日ドラゴンズ』を応援しています！ただ九州ではドラゴンズのファンの方をなかなかお見かけしないのが残念です（笑）。あと、熊本にはおいしいものがたくさんあって嬉しいのですが、お味噌だけは今でも八丁味噌を使っています。

**変化と失敗を恐れないこと。  
必ずチャンスはやってくる**

私は学部時代には自分が大学教員になるなんてまったく想像していませんでした。みなさんも自分の想像する範疇を超えた将来が待っているかもしれません。学生たちには「目の前にチャンスが訪れたらためらわずぜひ一歩踏み出して挑戦してほしい」と伝えています。もし失敗してもいくらでも別の道はあるし、あと戻りしたって構わない。いつリスタートしても「遅い」ということはありません。失敗は選択を極めていくためのひとつのデータと捉えてみましょう。変化を恐れることなく楽しんで学生生活を過ごしてもらえたらと思います。

Column

Hiroe ANDO

**好きな言葉は？**

雪に耐えて梅花麗し。

宝ものは？  
今までの思い出と経験。